

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
児童・家庭福祉		選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>様々な生活上の課題を抱え、社会福祉サービスを必要としている子どもやその家族のニーズに対応する専門職が求められている。児童・家庭福祉では、他の科目との関連を意識しつつ子ども家庭福祉に関する歴史の変遷を理解し、これからの視座を広げることを目的とする。</p> <p><概要>本講義では、知識学習だけでなく受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を繰り返し活用し実践的な学びを行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	社会福祉士国家試験科目とは考え方の基盤が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 3 児童・家庭福祉 第 2 版/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じてプリントを配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	児童・家庭福祉の理念ならびに歴史の変遷について理解し、説明できる。			HC(5)	
②	児童・家庭福祉の実施体制ならびに対応する制度・施策を理解し、説明できる。			HC(5)	
③	児童を取り巻く社会的状況や諸問題について検討し、解決に向けた考えを説明できる。			HC(3)、(4)	
④	自分と他者との価値観・考え方の違いを理解し、説明できる。			HC(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約 (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。児童・家庭福祉の全体像を理解する。	講義	内容の復習を行う。	2	
2	子ども家庭福祉の考え方について理解する①。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
3	子ども家庭福祉の考え方について理解する②。	演習・グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。	2	
4	子ども家庭福祉の歴史の変遷について理解する①。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
5	子ども家庭福祉の歴史の変遷について理解する②。	グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。	2	
6	子ども家庭福祉を取り巻く現代社会について理解する。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
7	子ども家庭福祉の支援基盤について理解する。	グループワーク	グループワークの振り返り、考えの整理を行う。	2	
8	子どもの福祉課題と支援について理解する①。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
9	子どもの福祉課題と支援について理解する②。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
10	子どもの福祉課題と支援について理解する③。	講義・ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	3	
11	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際を考える①。	演習・グループワーク	プレゼンテーションに向けた準備を行う。	4	
12	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際を考える②。	演習・グループワーク	プレゼンテーションに向けた準備を行う。	4	
13	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際を考える③。	プレゼンテーション	プレゼンテーションの振り返り、成果と課題を整理する。	2	
14	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際を考える④。	演習・グループワーク	プレゼンテーションに向けた準備を行う。	4	
15	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際を考える⑤。	プレゼンテーション	プレゼンテーションの振り返り、成果と課題を整理する。	2	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	20	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。 試験範囲は講義中に用いた教科書・配付プリントから中心に出題し、理解度を問う。			試験結果を掲示する。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		プレゼンテーションを実施する。発表内容や聞き手を意識した発表ができているかを評価する。			講義内で適宜フィードバックする。	
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		講義中に理解を深めるために受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間のコミュニケーション、問題発見能力等を評価する。 また、授業後のリアクションペーパー時に通知した設問への回答も評価に加える。			講義内で適宜フィードバックする。	
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した児童福祉に関連する図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野からソーシャルワークの素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。 ・生成 AI（ChatGPT 等）を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。 						